3Kの作業なのに、『楽しい』と言ってくれたんです

トマト農家・鷹見（たかみ）豪さん＆NPO法人ふれあいの家（特非）ふれあいの家

「この地域は、昼夜の寒暖差がトマト栽培に適しており、綺麗な水が豊富にあるので、夏秋トマトの生産地です。私を含めて家族経営が多く、収穫作業はどこの農家でも人手がなく困っていました。障がい者施設への作業委託は、経験のある知人から、『できる人は十分すぎるほど働いてくれるが、ずっと突っ立っているだけの人もいる』と聞いていましたが、ぎふアグリチャレンジ支援センターの『農福連携に関するアンケート』には、それほど深く考えずに『興味がある』と回答しました」という鷹見さんは、現在、中津川市夏秋トマト生産協議会長で、東美濃夏秋トマト生産協議会長も務めている。

元々サラリーマンだった鷹見さんの実家は、兼業の稲作農家だったが、農地を守り、地域の特産物を守りたいと、トマト栽培を選択したという。

ぎふアグリチャレンジ支援センター・恵那農林事務所との話し合いで、適期を色で判断する収穫作業は難しいので、未経験でもできそうな仕事ということから、収穫後のハウスの片付け作業を委託することにした。

作業を受託した、ＮＰＯ法人ふれあいの家の西尾努事務長は「就労継続支援Ｂ型事業所を運営しており、農作業としては養蜂農家のハチミツ採取作業を受託しています。じねんじょの収穫作業を受託したこともあります。いずれは、ハウスを建て、トマトの生産活動をやりたいと考えていました。作業受託を通して、経験から栽培知識を身に着けることにつながるのではないか」と考えたそうだ。

それまで、まったく接点のなかった農家と障がい者施設との初めての作業受委託だが、鷹見さんの「まずはやってみましょう」のひとことで、最初の一歩を踏み出した。

鷹見 豪 さん

片付け作業は、ハウスから、収穫の終わった株やマルチ、支柱などを撤去する作業で、「これをしないと次の栽培に取り掛かれないとわかっていても、シーズンが終わって気が抜けるというか、テンションが上がらない作業です。ハウスは全部で12棟あり、カビや土ほこりが舞い上がる中、大量の株や資材を撤去し、仕分け、廃棄する作業は大変で、一人で作業すると1ケ月近くかかります」という鷹見さん、結果には大変満足している。

「1日4時間、4人が作業してくれました。1日2、3棟のペースで撤去が進み、廃棄作業を含めて3週間で完了しました。いわゆる3Kの作業で申し訳ないので、作業の合間に利用者をねぎらうと、そんな作業にもかかわらず『楽しい』と言ってくれたんです」。

片付け作業を、同行している職員の指示に従ってテキパキとこなす姿を見て鷹見さんは、植えるタイミングが待っ

支柱を全て抜き、運び出しやすいようにまとめておく

植穴の横に置かれたポットの向きを変えないように定植していく

たなしで一番人手がいる定植作業も委託することにした。苗には植える向きがあり経験がないと判断が難しいので、鷹見さんは、事前に植穴を開け、その横に、向きを確認しながらポット苗を置いておいた。

「ある程度の準備をすれば、指示どおり、周りと同じ高さになるように土を調整し、苗を植え、株がまっすぐになるように定着させてくれました。慣れてくると、苗を置いていくのが追い付かなくなるほどで、助かりました」。

ふれあいの家との連携は、まだまだ可能性を秘めている。「今後は葉かき作業も、やり方を職員さんと相談しながら委託していきたいと考えています。他のトマト農家さんも人手不足で困っています。もっと委託できる障がい者施設が増えていって欲しいと思っています」と、鷹見さんは語ってくれた。

阿部 真奈美 さん

鷹見さんの話を聞いて、障がい者施設への作業委託を決めた農家がある。

阿部農園の阿部真奈美さんは、将来的に障がい者雇用を目指したいと考えており、市役所に相談していたという。

「研修会に誘われて鷹見さんのお話を聞きました。株の搬出など1日程度の委託を考えていましたが、ぎふアグリチャレンジ支援センターの説明を聞いて、鷹見さんと同じ作業を委託することにしました。多少不安もありましたが、ふれあいの家の職員さんと事前に詳細な打ち合わせを行ったことで、安心して作業をお願いすることができました。株が枯れ切っていなくて、廃棄する実を取る作業からスタートしましたが、軽トラック一杯分もあり、本当に重労働だったと思います。私と従業員は、並行して行っていたイチゴハウスの建設に専念できて本当に助かりました」。

廃棄する実はコンテナで回収し軽トラックに積み込む

「雇用と違い、職員さんが同行しているので、伝達もスムーズ、安心感もありました。農福連携の一つの方法として障がい者施設への作業委託は取り組みやすい形だと思います」という阿部さんは、イチゴのプランターの土入れ作業も委託し、更なる連携を深めている。

プランターに均等に培地を入れていく

取材メモ

鷹見 豪さん(中津川市)
品　　目：トマト(麗夏)
作付面積：ハウス12棟(約22アール)

阿部 真奈美さん(恵那市)
品　　目：トマト(麗夏)、イチゴ　他
作付面積：トマトハウス13棟(約16アール)
　　イチゴハウス10棟(約22アール)

NPO法人ふれあいの家(恵那市)
サービス種別：就労継続支援B型
運営法人：特定非営利活動法人ふれあいの家